

■ 保 護 樹 木

番号	指定番号・年月日	樹種名・所在地	樹 高	幹 周	要 旨
3	樹-62-3 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	ヤマモモ 大字萩谷168番地 個人宅	17.0m	1.81m * 2.97m	市北部山中の旧家の裏山にあり、野生種としては数少ない大木である。
6	樹-62-6 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	カイヅカイブキ 宮之川原元町10番18号 個人宅	9.5m	2.50m	府道沿いの旧家の庭にあり、よく整形された樹形を保ち、独特の景観美をなす巨木である。
7	樹-62-7 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	クスノキ 梶原二丁目9番12号 一乗寺内	29.0m	7.54m	室町時代から600年を生き抜いた樹容を誇る。弁慶が駒をつないだ逸話の残る、単幹では市内随一の巨木である。
8	樹-62-8 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	ムクノキ 西真上一丁目7番5号 笠森神社内	21.5m	4.98m	戦国期の城の守り神であった神社が現在は屋敷神となり、その社にそびえる姿は人々に時代を伝えている。
9	樹-62-9 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	クロガネモチ 氷室町二丁目19番2号 個人宅	13.6m	2.23m	旧家の並ぶ中にあり、門長屋越しに眺める容姿には趣がある。強剪定されているが、今なお風格を保っている。
10	樹-62-10 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	クスノキ 春日町537番地 道路脇	23.7m	4.33m	市街地の道路脇にあり、道路面を覆いそびえたつ姿は、地域のシンボルとなっている。
13	樹-62-13 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	モッコク 東天川一丁目8番4号 個人宅	11.5m	2.24m	庭園樹として代表的樹種であるが、これほど大きく遠望のきくものは珍しく、地域のランドマークとなっている。
14	樹-62-14 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	イチヨウ 大冠町二丁目10番6号 尊重寺内	21.5m	3.20m	落雷により樹幹側部を欠くが、葉のボリューム感が緑の少ない住宅街の環境に潤いを与えている。
15	樹-62-15 昭和63年3月1日 高槻市告示第40号	ウツギ 西面中二丁目16番10号 正徳寺内	4.0m	—	市南部の旧家が並ぶ一角の古寺の土塀越しに流れ落ちるように白い可憐な花が咲く、学術的にも貴重な樹種である。
16	樹-63-16 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	モミ 大字田能小字コブケ 檜船神社内	16.5m	3.68m	市北部の社頭にそびえる雄大な樹容は、地域のシンボルとなっている。
17	樹-63-17 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	カツラ 大字出灰小字堂の前 素盞鳴尊神社内	30.0m	4.80m * 1.90m	市北部山間の神社に悠久の時を刻んでそびえる様子は神秘的で、樹齢300年といわれ、市の同種の中では最大のものである。
18	樹-63-18 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	カヤ 大字萩谷160番地 個人宅	22.0m	3.71m	市北部山中の民家の庭先にそびえる樹容は、地域のランドマークとなっている。
19	樹-63-19 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	クスノキ 真上町二丁目16番6号 真上公民館内	18.5m	4.14m	豊かな緑量と風格のある樹容は、地域コミュニケーションの場である公民館のシンボルツリーとなっている。
20	樹-63-20 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	ムクノキ 清福寺町23番2号 阿久刀神社内	15.3m	3.86m	神社の神木として信仰の対象とされているため保存状態が良好で、豊かな緑量は訪れる人を和ませている。
22	樹-63-22 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	クロガネモチ 氷室町二丁目18番12号 個人宅	10.5m	2.06m	旧家の街並みの塀越しに見えるその豊かな緑量とのびやかな樹容は、周辺の田園風景の象徴となっている。
23	樹-63-23 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	イヌマキ 氷室町二丁目14番12号 個人宅	18.2m	2.43m	旧家の裏庭にそびえる勇壮な樹容は、地域のランドマークとして周辺の田園風景の象徴となっている。

■ 保護 樹 木

番号	指定番号・年月日	樹種名・所在地	樹 高	幹 周	要 旨
25	樹-63-25 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	ク ロ マ ツ 上本町11番29号 個人宅	6.0m	1.02m	伝統的な街並みの中で旧家の屋根伝いのいわゆる見越しの松として良く整形され、独特の景観を呈している。
28	樹-63-28 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	ク ロ マ ツ 富田町四丁目1番4号 清蓮寺内	6.5m	1.97m	寺院の境内でよく管理されたのびやかな樹容は、訪れる人々に安らぎを提供している。
29	樹-63-29 平成元年3月30日 高槻市告示第59号	イ チ ョ ウ 富田町五丁目2291番地 個人宅	19.5m	3.15m	周辺地域の催事の対象として保護され、その豊富な緑量は緑の少ない地域に安らぎを与えている。
31	樹-2-1 平成2年6月11日 高槻市告示第107号	ク ス ノ キ 梶原一丁目5番12号 畑山神社内	18.5m	5.80m	西国街道に面した鎮守の森の中にあり、その巨大な樹容は周辺地域のシンボリック的存在であるとともに、街道の歴史を物語っている。
32	樹-2-2 平成2年6月11日 高槻市告示第107号	ケ ヤ キ 安満磐手町5番6号 磐手社神社内	25m	2.35m	本市では数少ない健全なケヤキの古木で鎮守の森の中心に位置し、その逆箒状の樹形は周辺住民のシンボルとなっている。
34	樹-2-4 平成2年6月11日 高槻市告示第107号	ア ベ マ キ 八幡町2番9号 八幡大神宮内	24.2m	3.14m	比較的中心市街地の神社境内にあり、その樹容はひときわ目立つランドマークとなっている。
36	樹-18-1 平成18年11月1日 高槻市告示第642号	ク ス ノ キ 大学町1番 大阪医科大学病院内	15.3m	3.22m	病院内中庭にあり、横に広がった枝張りが特徴で独特の景観美を呈し、病院利用者の目を楽しませてくれている。
37	樹-18-2 平成18年11月1日 高槻市告示第642号	イ ス ノ キ 唐崎中四丁目6番8号 個人宅	20.0m	1.95m	通常は山地に生育しているが、本市南部平坦地に生育している珍しい樹木である。木の灰は「いすばい」といって有田焼の上薬として利用されている。
38	樹-23-1 平成23年4月1日 高槻市告示第183号	ゴ ヨ ウ マ ツ 大字中畑小字清谷23 個人宅	9.5m	2.14m	市北部の旧家の庭に生育し、樹齢は約400年といわれ、ゴヨウマツ特有の美しい樹形を周辺道路から遠望することができる。
39	樹-27-1 平成27年4月1日 高槻市告示第160号	ク ス ノ キ 辻子一丁目3番4号 辻子冠須賀神社内	28.5m	3.83m	周辺地域のシンボルツリーとして親しまれている。秋には同境内にあるイチョウとのコントラストが壮観である。
40	樹-29-1 平成29年8月1日 高槻市告示第369号	ク ス ノ キ 番田一丁目18番 番田神社内	18.5m	4.3m	樹齢は370年を超えると伝えられており、地域のシンボルツリーとなっている。過去、大塚・番田一帯が浸水した大水害にも耐えた頑丈な樹木である。
41	樹-R2-1 令和2年11月1日 高槻市告示第544号	イ チ ョ ウ 須賀町19番5号 個人宅	18.1m	4.04m	かつては国鉄高槻駅(現JR高槻駅)からも見えたと言われる、本市最大級のイチョウである。樹齢は300年以上と推定され、旧家の庭園樹として風格のある景観を形成している。
42	樹-R6-1 令和7年3月1日 高槻市告示第79号	ク ス ノ キ 天神町一丁目14番地内 上宮天満宮内	25.0m	4.26m	極めて珍しい、全周にクスノキらしい長大な枝を有した巨木。また、市街化の進むJR高槻駅近隣の立地であることも重要である。
43	樹-R8-1 令和8年4月1日 高槻市告示第107号	イ チ ョ ウ 梶原二丁目9番12号 一乗寺内	19.0m	2.19m	17世紀半ばに火難を避けることを祈念して植えられた「火伏(ひぶせ)イチョウ」との伝承を持つ、由緒のある老木である。
	計	30本			